

科目区分	専門分野 I	授業科目	基礎看護方法論IX (検査・フィジカル・救急法)
講師名	矢口 由里子 下田 旬美	実務経験の有 無	有
単位数(時間)	1単位(30時間)	開講年次	2年次 前期
目的:	看護の本質を理解し、看護に必要な基本的知識・技術・態度を習得する		
目標:	1) 症状・生体機能管理技術の基礎知識が説明できる 2) 診察・検査・処置の基礎知識が説明できる 3) 静脈血採血ができる 4) 検査場面における看護師の役割が説明できる 5) フィジカルアセスメントの意義と目的が説明できる 6) フィジカルアセスメントの方法が説明できる 7) 症状・徴候からアセスメントでき、必要な援助がわかる 9) 救急対応の考え方、急変時における初期対応の流れが説明できる 10) 心肺蘇生の基礎知識を説明できる 11) 一時救命処置を正しく実施できる 12) 止血法の原理について説明できる		
回	時間	講	義 内 容
1 矢口	2	症状・生体機能管理技術	臨床検査 ・診療における臨床検査の役割 ・臨床検査の種類と目的 検体検査 生体情報のモニタリング
2 矢口	2	診療・検査・処置	看護の目的と役割 生体検査
3 矢口	4	静脈血採血	真空採血間を使用した静脈血採血の実際
4 下田	2	フィジカルアセスメントとは フィジカルアセスメントの 方法	フィジカルアセスメントの意義と目的 フィジカルアセスメントに必要な技術 ・問診の技術 ・視診の技術 ・触診の技術 ・聴診の技術 ・打診の技術
5 下田	2	身体機能別 アセスメント①	呼吸系
6 下田	2	身体機能別 アセスメント②	循環系
7 下田	2	症状・兆候からのアセスメン ト 診察方法と介助技術(演習)	フィジカルアセスメントの実際 ・計測 ・症状・兆候からのアセスメント
8 下田	2	身体機能別 アセスメント③(演習)	運動系 中枢神経系
9 下田	2	身体機能別 アセスメント④(演習)	消化器系 感覚器系
10 下田	2	フィジカルアセスメントの 実際①(演習)	症状・疾患別アセスメント
11・ 12 下田	3	フィジカルアセスメントの 実際②(講義/演習)	症状・疾患別アセスメント
13 矢口	2	救急救命処置技術  心肺蘇生法  止血法	救命救急処置技術の基礎知識 ・急変時における初期対応 ・トリアージ 心肺蘇生法の基礎知識 ・一時救命処置(BLS) ・小児・乳児の心肺蘇生法 ・二時救命処置(ALS) 止血法の基礎知識
14 矢口	2	心肺蘇生法の援助の実際	一時救命処置の実際 ・気道確保

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・人工呼吸</li> <li>・胸骨圧迫</li> <li>・AEDにおける除細動</li> </ul>
15	1	単位認定試験	筆記試験
講義方法		講義 14 時間 演習 16 時間	
評価方法		筆記試験：検査 30 点、フィジカル 60 点、救急法 10 点	
テキスト		<ul style="list-style-type: none"> <li>・系統看護学講座 専門分野 1, 基礎看護学②第 16 版第 4 刷, 医学書院</li> <li>・系統看護学講座 別巻 臨床検査 第 8 版第 1 刷 医学書院</li> <li>・フィジカルアセスメントがみえる、メディックメディア、2017</li> <li>・看護技術がみえる vol.2 臨床看護技術 第 1 版第 7 刷 メディックメディア</li> <li>・山内豊明：フィジカルアセスメントガイドブック第 2 版, 医学書院</li> </ul>	
備考			